

いつ起きてもおかしくない 自然災害を知り、備える。

全国各地で発生し、大きな被害をもたらす地震や風水害などの自然災害。自然災害はいつ、どこで発生するかわかりません。しかし、自然災害のことを知り、普段から備えることで、自分や家族の命を守り、被害を少なくすることにつながります。私たちができることを考えてみましょう。

⑩1000025

東日本大震災以降に発生した地震の回数 (H29.7.31 現在)

震度階級	発生回数
5弱	94
5強	41
6弱	12
6強	6
7	2
合計	155

気象庁震度データベースによると、平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、国内で震度5弱以上の震度を観測した地震は155回発生しています。(7月31日現在)

地震

日本 列島は、4つのプレートの境界に位置し、世界で発生する地震の約2割は日本で起きるといわれる地震大国です。

日本列島付近のプレート



市内に限ると、平成16年9月5日に三重県南東沖を震源地としたマグニチュード7.4の地震が起きたときに福江町と赤羽根町の震度観測点で震度4を観測して以降、これ以上の地震は観測されていません。(7月31日現在)

海溝型地震は、海のプレートが陸のプレートの下に潜り込む際に生じたゆがみが元に戻ろうとする作用により起こります。このため、100年〜150年とある程度決まった周期で発生します。

過去に南海トラフ※で発生した地震では、東南海地震が昭和19年、南海地震が昭和21年に発生していますが、東海地震が最後に発生したのは

市内に限ると、平成16年9月5日に三重県南東沖を震源地としたマグニチュード7.4の地震が起きたときに福江町と赤羽根町の震度観測点で震度4を観測して以降、これ以上の地震は観測されていません。(7月31日現在)

南海地震	東南海地震	東海地震	周期
昭和南海地震 (1946年) M8.0	昭和東南海地震 (1944年) M7.9	空白域	90年
安政南海地震 (1854年) M8.4	安政東海地震 (1854年) M8.4		
	宝永地震 (1707年) M8.6		147年
	慶長地震 (1605年) M7.9		102年

歴史は繰り返す！過去の大地震

※南海トラフ
駿河湾から四国の南の海底にある水深4000m級の深い溝。

嘉永7年(1854年)と、160年以上たっており、いつ起きてもおかしくない状況であるといわれています。

南海トラフ地震は、今後、30年以内に70%の確率で発生すると予測されています。